



おのみ



令和4年度 3月号
志布志市立尾野見小学校

「力のかぎり歌え！」

学校長 宗岡 克英

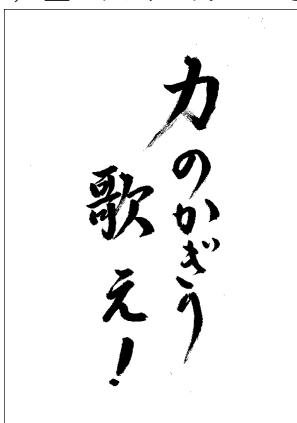
以前私が勤務していた中学校は、生徒指導に追われる学校でした。一部の生徒ですが、授業中に缶チューハイを飲んでいる女子生徒もいました。ある男子生徒からは、カッターナイフを突きつけられたこともあります。授業中は、私語が絶えず、注意しても聞きません。それでも注意をすると、大体ふてくされて机にうつ伏せになって寝始めます。そんな毎日の学校でした。だから、大きな声で歌を歌う雰囲気もありませんでした。合唱をする際に、隣の生徒と私語をする光景がしばしば見られました。

ある年の卒業式の時のことです。卒業する学年は、私の担当学年ではありませんでしたが、その学年も生徒指導に追われていました。3年部を担当する先生方は、卒業式の日まで、毎日生徒への対応をしていました。中学校では卒業式が終わった後に、卒業生全員による合唱があります。全員で歌うことによって、卒業の喜びや感謝の気持ちを表現する卒業式のクライマックスです。学校全体がそのような落ち着かない雰囲気でしたので、合唱が、果たして成立するのかとても心配でした。

卒業式が一通り終わり、生徒達が舞台に並び、合唱が始まろうとするその時でした。舞台に立っている卒業生から真正面に見える位置、体育館の入り口付近の2階の手すりに仕込まれていた大きな巻物の封が解かれ、巨大な紙がスルスルと床近くまで広げられました。広幅用紙を何枚も貼り合わせて作られたその紙には、墨で太く「力のかぎり歌え！三年部職員一同」と書かれていました。叩きつけられるようにうあってほしいという先生方の最良。最後まで諦めない気持ちが伝った体育館にピアノのイントロが流れました。最初は戸惑いながら歌って来るのがわかりました。卒業力のかぎり歌を歌っていました。の参列者全員に届けられました。

明日、3月23日（木）は本校のおめでとうございます。卒業式は、皆さん一人ひとりが立派に成長した姿を見せてください。

「お別れの言葉」の中では、5・6年生が「変わらないもの」、全員で「校歌」、6年生が「友～旅立ちのとき～」を合唱します。コロナ禍で思いっきり歌を歌うことのできない3年間でした。その分も取り戻す気持ちで歌ってほしいと思います。1～4年生は残念ながら式には参加できませんが、自宅でこれらの歌を聴いたり歌ったりして6年生の卒業を祝ってほしいと思います。みんなで力を合わせて素晴らしい卒業式にしていきたいと思います。



書かれたその文字には、生徒達にこ後のメッセージが込められていました。シンと静まりかえゆっくりと鳴り響き、合唱が始まっていた卒業生の声が次第に大きくな生は、先生方の願いに応えるためにそしてその気持ちは曲に乗り、会場会場が一つになった気がしました。卒業式です。6年生の皆さん、卒業6年間学んできた集大成の日です。

